

# 小野市立図書館だより

# 夏

2022年7月15日

発行：小野市立図書館

小野市中島町 64

夏季休業を前に、小野市立図書館の職員が、中学生の皆さんにぜひ読んでほしいおすすめの本をご紹介します。夏の読書の参考にしてください。この夏は、新たな本との出会いを楽しんでみませんか。

また、夏季休業期間中は、図書館 2 階の自習室を毎日開放しています。ぜひ気軽に図書館をご利用ください。

## おすすめの 1 冊



### 『車輪の下』

著者：ヘルマン・ヘッセ  
出版社：新潮社

子どもの心を理解しない大人を批判するお話です。みなさんもうなずくことも多いと思いますので、ぜひ読んでみてください。



### 『舟を編む』

著者：三浦しをん  
出版社：光文社

出版社で辞書を編集する人々を描いた物語です。登場人物たちの辞書づくりに対する情熱が伝わってきて胸を打たれます。



### 『あと少し、もう少し』

著者：瀬尾まいこ  
出版社：新潮社

部活動をしている中学生みんなに読んでほしいさわやかなスポーツ系青春物語です。中学最後の駅伝に臨む彼らの姿に胸が熱くなります。



### 『ぼくの・稲荷山戦記』

著者：たつみや章  
出版社：講談社

作者の子供時代の体験をもとにした物語です。人とおキツネ様との友情を描くファンタジーと、都市開発から自然を守るリアルな部分のバランスが絶妙なお話です。



### 『羊と鋼の森』

著者：宮下奈都  
出版社：文藝春秋

何かにチャレンジしたいと考えている中学生や自分の進路について悩んでいる中学生にぜひ読んでほしい一冊です。



### 『トンネルの向こうに』

著者：マイケル・モーバゴ  
出版社：小学館

戦争の話なので、今のウクライナ情勢と結び付けて感想文が書きやすいのでは。ストーリーは少し重いのですが、短めで読みやすいです。



### 『夏の庭 The Friends』

著者：湯本香樹実  
出版社：福武書店

「死んだ人を見てみたい」という好奇心から始まる小学生3人組の夏休みの話。“死”という重いテーマだけど、暗さはなく、さわやかにストーリーが進み、夏に読むのにぴったりです。



### 『水族館ガール』

著者：木宮条太郎  
出版社：実業之日本社

突然水族館で働くことになった主人公が、たくさんの失敗や挫折を繰り返しながらも、決してあきらめることなく頑張る姿から勇気や希望がもらえます。



### 『だから僕は大人になれない』

著者：べいんと  
出版社：KADOKAWA

YouTuber という職業が当たり前になった時代の人気 YouTuber『日常組』のメンバーの一人・べいんとさんのエッセイです。YouTuber の世界をのぞくにぴったりで、サクッと読めます。



### 『永遠の0』

著者：百田尚樹  
出版社：双葉社

戦場の臨場感あふれるシーンがたくさんあり、読んでいてワクワクします。史実に基づいているので勉強にもなり、読み応えのある一冊です。



### 『ななみの海』

著者：朝比奈あすか  
出版社：双葉社

児童養護施設で暮らす高校生の「ななみ」。将来の不安、大人への不信任、友人との関わり…。これから進路を考える中学生にもぜひ読んでもらいたいです。



### 『そして、バトンは渡された』

著者：瀬尾まいこ  
出版社：文藝春秋

改めて家族の在り方について考えることができる本です。主人公「優子」の周りの人たちがとにかく優しく、温かい気持ちになります。



### 『ホームレス中学生』

著者：田村裕  
出版社：ワニブックス

人気お笑いコンビ『麒麟』の田村裕が自身の中学生時代からの出来事を綴った自伝小説です。お金で買えない価値を知ることができる一冊です。



### 『世界がもし100人の村だったら』

著者：池田香代子  
出版社：マガジンハウス

世界の国々のいろいろな事実や状況を知り、自分の住んでいる国の様子を見直してみる機会になる一冊です。

所蔵検索もできる！小野市立図書館 HP はこちらから



【開館時間】 10:00~18:00

【7・8月の休館日】 7/26、8/20、21